

運営会議準備会 議事録 （会費についての意見交換）

日時：2012年4月19日（木）13：00～14：00

参加者：茅野会長、中島、葦木、沖野、月岡、原、傘木、寺澤、高木、宮入

ISEP 飯田氏、吉岡氏、ファシリテーター黒崎氏 議長：平島

・会費を定めるにあたって、今後信州ネットはどういう団体になるのか。会費で食べていくことは日本では不可能。認定財団法人、認定社団法人や認定 NPO を目指せば、企業の寄付を受けやすくなる。特に認定財団法人、社団法人は実績不要。NPO は実績が必要。

・A 案が簡単で良いと思う。正会員と準会員の区別は？準会員はなくてもよいのでは？団体の正会員と賛助会員の違いもよくわからない。あまり複雑にしない方がよい。

・賛助会員は高めに設定しても良い。

・会費の設定には、信州ネットや地域協議会の役割を明確にわかりやすく説明できる状態にすることが重要では？

・会費が設定されていないから、登録をしておこうという団体もいるでしょう。ゆえにシュミレーション通りの結果はなかなか難しい。会費をとらない「情報会員」を設定することでつなぎとめておくことができる。情報会員：メールニュースの配信のみ

・地域協議会が信州ネットの会員になった場合、会費はとるのか？

・会員に会費をお願いするときに、会費を取る意味、今後の組織の在り方を明確に説明できること、メッセージとしてきちんと伝えていくことが大事。

・認定 NPO の基準は？→活動の公益性が重要、基本的に特定の企業体に支援してはいけない。認定社団法人は、これから目指す内容や計画で評価される。

・うちの NPO の場合、本体は任意団体のままファジーにしている。プロジェクトごとに適当とおもわれる人格を持たせる方法もある。

・事務局が継続できるキャッシュフローを考える必要がある。